

乳癌における Trop2 の臨床的意義に関する研究

1. 臨床研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。その一つとして、九州大学病院消化器・総合外科では、現在乳癌の患者さんを対象として、Trop2 に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2028 年 8 月 25 日までです。

2. 研究の目的や意義について

Trop2 (Trophoblast cell-surface antigen 2) は、細胞表面の糖タンパク質で、発生初期の細胞が胎盤に着床する際に重要な役割を果たすことが知られています。一方で、Trop2 は癌細胞においても発現し、癌の浸潤や増殖に関与すると考えられています。さまざまな悪性腫瘍において Trop2 の高発現は予後不良との関連が報告されています。また、Trop2 は治療ターゲットとしたとしても注目されており、近年、乳癌における Trop2 を標的とした治療薬の有効性が報告されています。

乳癌は異なる生物学的な特徴を持つサブタイプに分類され、病理組織学的にも特徴が異なる組織型を含みますが、これまでに乳癌のサブタイプや組織型と Trop2 発現の関係についてはわかっていません。Trop2 発現とその機序について調べることは、Trop2 を標的とした治療薬の治療効果や抵抗性に関与する可能性があり、乳癌診療において不可欠な知見であると考えられます。本研究では乳癌における Trop2 発現について検討し、その意義を明らかにすることを目的としました。

3. 研究の対象者について

1995 年 1 月 1 日から 2023 年 8 月 25 日までに九州大学病院 消化器・総合外科及び九州がんセンターにて、原発性乳癌と診断され手術が行われた患者さん 750 名（九州大学 300 名、九州がんセンター 450 名）を対象とさせていただく予定です。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

4. 研究の方法について

この研究への参加に同意いただきましたら、手術により切除された組織の一部を使用し、カルテより以下の情報を取得します。この研究に伴い、患者さんから新たに組織や血液を採取したり、その他の検査を追加したりすることはありません。

[取得する情報]

年齢、性別、身長、体重、BMI、血液検査（WBC, Hb, Ht, MCV, MCH, MCHC, Plt, RDW, PDW, %NEUT, %LYMP, %MONO, %EOS, %BASO, %LUC, PT-TIMR, PT-%, PT-INR, APTT, TP, Alb, BUN, Cre, UA, T-Bil, D-Bil, AST, ALT, LDH, ALP, γ -GTP, CK, Glu, T-cho, TG, CRP, Na, K, Cl, Ca, eGFR, HBs-Ag, HBs-Ab, HBe-Ab, HCV-Ab, HIV-Ag, CA-15-3, CEA）、細胞診、組織診、心電図、呼吸機能検査、エコー検査、放射線検査（マンモグラフィ、単純 X 線、CT 検査、

MRI 検査、PET-CT、骨シンチ、骨密度)、既往歴、内服歴、アレルギー、月経状況（初経年齢、閉経年齢）、結婚・妊娠・出産歴、授乳歴、家族歴、手術術式、乳房再建の有無、術後病理検査結果、術前・術後薬物療法歴、術後放射線治療歴、治療経過、局所再発の有無、遠隔転移の有無、再発治療歴とその経過、生命予後

共同研究機関の研究対象者の手術組織についても、郵送にて収集し、詳しい解析を行う予定です。他機関への試料・情報の送付を希望されない場合は、送付を停止いたしますので、ご連絡ください。

5. 研究への参加を希望されない場合（事前に同意を得ていない資料を用いる研究の場合）

この研究への参加を希望されない方は、下記の相談窓口にご連絡ください。

なお、研究への参加を撤回されても、あなたの診断や治療に不利益になることは全くありません。

その場合は、収集された情報などは廃棄され、取得した情報もそれ以降はこの研究目的で用いられることはありません。ただし、参加を時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

6. 個人情報の取扱いについて

研究対象者の病理組織、カルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院外科学研究院消化器・総合外科学分野内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院外科学研究院消化器・総合外科学分野教授・吉住朋晴の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

7. 試料や情報の保管等について

[試料について]

この研究において得られた研究対象者の病理組織等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院外科学研究院消化器・総合外科学分野において同分野教授 吉住朋晴の責任の下、5年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

[情報について]

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学九州大学大学院外科学研究院消化器・総合外科学分野において同分野教授 吉住朋晴の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の試料や情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

8. この研究の費用について

この研究に関する必要な費用は、部局等運営費でまかなわれます。

9. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのため資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じることがあります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は部局等運営費であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

(窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082)

10. 研究に関する情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、この研究では、学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定です。

11. 特許権等について

この研究の結果として、特許権等が生じる可能性があります。その権利は九州大学及び共同研究機関等に属し、あなたには属しません。また、その特許権等を元にして経済的利益が生じる可能性があります。これについてもあなたに権利はありません。

12. 研究を中止する場合について

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。なお、研究中止後もこの研究に関するお問い合わせ等には誠意をもって対応します。

1.3. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院 消化器・総合外科 九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科分野	
研究責任者	九州大学病院 乳腺外科 (2) 併任講師 伊地知 秀樹	
研究分担者	九州大学医学研究院 消化器・総合外科学分野 <u>准教授</u> 沖 英次 九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学分野 <u>教授</u> 小田 義直 九州大学病院 乳腺外科 (2) <u>助教</u> 茂地 智子 九州大学大学院医学系学府 形態機能病理学分野 <u>大学院生</u> 田中 康 九州大学大学院医学系学府 形態機能病理学分野 <u>大学院生</u> 吉山 貴之 九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野 <u>大学院生</u> 大森 幸恵	
共同研究機関等	機関名 / 研究責任者の職・氏名	役割
	国立病院機構 九州がんセンター 乳腺科 部長 徳永 えり子	試料の提供 情報の収集

1.4. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口) 担当者：九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野
大学院生 大森 幸恵
 連絡先：〔TEL〕 092-642-5466 (内線 5466)
 〔FAX〕 092-642-5482
 メールアドレス：omori.sachie.069@m.kyushu-u.ac.jp